

農 研 速 報

2022 年 8 月 2 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況(7月25日現在、龍ヶ崎市)

地域名	生育ステージ		生育(作柄・品質)概況	問題点	備考
	本年	対平成遅速			
茨城県 (龍ヶ崎市)	里のほほえみ 第11本葉 展開期	やや早い	龍ヶ崎市における6月第5半旬～7月第4半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。 【気象】 気 温:平均気温は高かった(平成差+2.0℃、図1)。 降 水 量:平成比43%と少なかった(図2)。 日照時間:平成比138%とやや長かった(図3)。 【生育】 7月26日調査時点での地上部の生育は、「里のほほえみ」は概ね平成を上回り、「納豆小粒」は平成並～上回った。品種別の調査項目の平成値との比較は以下のとおり。 <u>里のほほえみ</u> :分枝数は平成並で、主茎長はやや長く、主茎節数はやや多く、茎の太さはやや太く、地上部生体重はやや重かった。 <u>納豆小粒</u> :分枝数はやや多く、主茎長はやや長く、主茎節数は平成並で、茎の太さはやや太く、地上部生体重は平成並であった。 写真1に7月25日時点の所内大豆の生育状況を示した。	なし	●中耕・培土● ・例年、1回目は第4本葉展開期に子葉節まで、2回目は第7本葉展開期に初生葉節まで実施する。本年は、1回目を第4本葉展開期の7月11日に実施し、2回目を第8本葉展開期の7月20日に実施した。 ○紫斑病、葉焼病、莢害虫等の発生に注意し、適期防除に努める。 ○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため、必要な場合は灌水を行う。 ○病害虫の発生予察については、病害虫防除部のホームページを参照する。 (http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/)

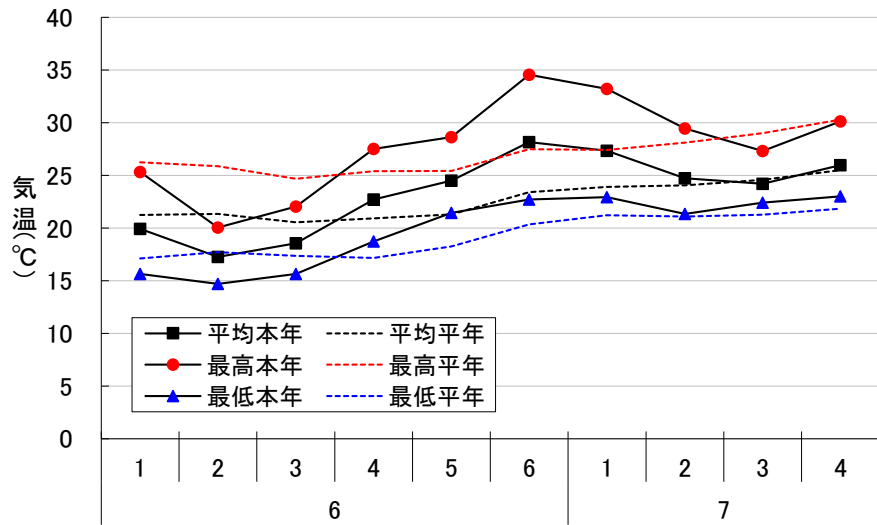


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

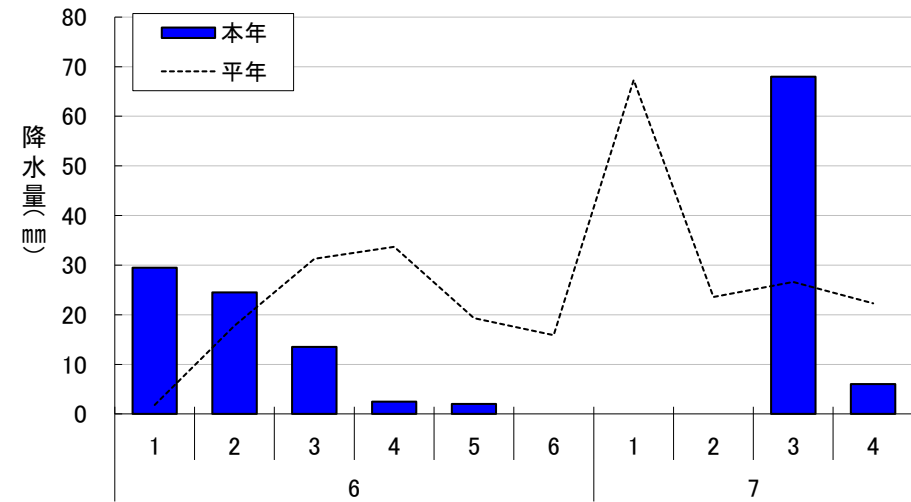


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

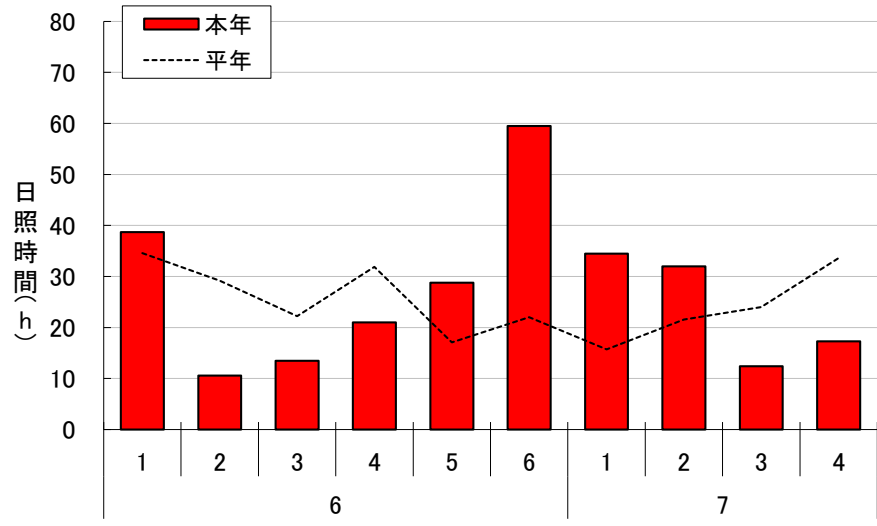


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	46	150	128	12.1	124	121	1.1	66	113	9.9	117	110	82.8	152	143
納豆小粒	41	177	136	11.8	120	107	2.7	138	136	7.6	139	126	62.3	226	152

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換2年目（前作麦）
- 2) 播種期：6月20日
- 3) 播種密度：11.1株/m²（畦間60cm、株間15cm）1本立て
- 4) 基肥：N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.2-1.2kg/a
- 5) 中耕・培土：7月11日、7月20日（それぞれ子葉節、初生葉節まで実施）

【注釈】

- 1) 生育調査は7月25日に実施
- 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

【平年値】

平成29年～令和3年播種の5ヵ年の平均値



写真1 所内大豆の生育状況(7月25日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒)

気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。
 各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。
 さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

